

栗林碩学倶楽部

RITSURIN
SEKIGAKU
CLUB

栗林碩学倶楽部 ご案内

毎月 第2水曜日
11:00～14:00

商工奨励館、掬月亭、そして園内全域を会場に開講いたします。



「特別名勝 栗林公園」を
テーマに一流の講師陣による
碩学倶楽部オリジナルカリキュラム



「特別名勝 栗林公園」で
食す地産地消食材に
こだわった季節のランチ
(料理提供/「料亭 二蝶」
または「ガーデンカフェ栗林」)



「特別名勝 栗林公園」
お庭の専門家によるガイドブックにも
掲載のない知られざる
魅力発見ツアー

ご入会について

「栗林公園観光事務所」または「ガーデンカフェ栗林(商工奨励館内)」にお申込み
書をご提出ください。郵送、FAX、E-mailでのご提出も可能です。お申込み書受理後、
会費のお支払方法についてご案内させていただきます。

会費：30,000円 / 6ヵ月分(消費税込)

会費に含まれるもの

開催日の入園料(合計 6回分) / 講座受講料(合計 6回分)

昼食会昼食代金(合計 6回分) / 園内特別ガイドツアー(合計 6回分)

スポット会員

会期中のご入会、また1回のみ参加の場合はスポット
会費をお支払いいただくことでご参加いただけます。
※会費は、講座や昼食会の内容によって異なります。
詳しくはお問い合わせください。

特典1

「特別名勝 栗林公園」図録(販売価格2,000円)プレゼント

特典2

「ガーデンカフェ栗林」食後コーヒー(または紅茶)いつでも 無料サービス
※会員様である期間は「ガーデンカフェ栗林」でお食事をご注文の場合
いつでも コーヒー(または紅茶)を無料でご提供いたします(但し会員様に限る、会員証提示必須)

特典3

「特別名勝 栗林公園」オリジナル木札プレゼント
※園内の木で制作した木札にロゴの焼き印

特典4

「特別名勝 栗林公園」オリジナルポストカード4種(各1枚)プレゼント

特典5

栗林碩学倶楽部 スポット会員 優先ご参加
※会員のご家族やご友人は優先的にスポット会員としてご参加いただけます(スポット会費 別途必要)

お問い合わせ

栗林公園にぎわいづくり委員会 (運営委託業者) 株式会社フェアリー・テイル

〒760-0073 高松市栗林町一丁目20番16号

TEL (087) 863-6685 FAX (087) 863-6674 e-mail info@ritsurincafe.com

特別名勝 栗林公園の四季に学び 四季を食し 四季を愉しむ



※料理写真はイメージです。

※料理写真はイメージです。

讃岐の築池の功労者
栗林公園の礎を築いた

西嶋八兵衛



一流の講師陣に 楽しみながら学ぶ知的講座

文化、芸術、音楽、健康医学、経済など
様々なジャンルで活躍する
讃岐の講師陣による
セミナーを開催いたします。
「特別名勝 栗林公園」の新たな魅力や
普段の生活へ応用できる知識など
皆様の知的好奇心に応える内容を吟味し、
学びの場所として提供いたします。

庭 × 学 × 食

「一步一景」お庭の国宝で 四季折々の風物を愉しむ

江戸時代、讃岐高松藩の歴代藩主により
百年余りの歳月をかけて完成されました。
現在では、特に重要な文化財庭園として
国の特別名勝に指定され、
「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」では
三つ星に格付けされるなど、
国内外から高い評価を得ております。

数々の来賓を迎えた 「特別名勝 栗林公園」 ならではのお料理を愉しむ

歴史ある大名庭園の
四季で移りゆく美しい花や景色、
数々の来賓をお迎えしてきた場所として
提供されてきた料理など
「特別名勝 栗林公園」にちなんだ
季節の食材や料理を
皆様に楽しんでいただきます。

「**学び**と**食**」を愉しむ
大人のための文化セミナー
お庭の国宝と言われる「特別名勝 栗林公園」で、
文化と食を愉しむ大人のための文化教室、
それが「栗林碩学倶楽部」です。
「一步一景」と言われる栗林公園の魅力を
存分にお楽しみいただきながら、文化、芸術、音楽、
健康医学、経済など様々なジャンルで活躍する講師陣を迎え、
毎月1回・全6回のセミナー（各回ランチ付）を実施いたします。
一流の専門知識や文化に触れ、
皆様の人生に彩りをプラスします。

特別名勝 栗林公園で

「**学び**と**食**」を愉しむ

大人のための文化セミナー



栗林碩学倶楽部

RITSURIN SEKIGAKU CLUB
HAVING FUN PREMIUM DISHES & KNOWLEDGES
IN THE RITSURIN GARDEN, TAKAMATSU.



書と詩文に通じた 儒者・文化人 青葉士弘

1703年(元禄16年)高松城下に生まれ、21歳で江戸の最高学府へ留学。わ
ずか3年で学業を修め高松へ帰藩。藩の文庫を預かり、藩校の講堂復興にも
力を注いだ。朱子学の流れをくみ、三代・松平頼豊、四代・頼恒、五代・頼恭、
三代の藩主に仕えた。また、詩文や書にも堪能で、1771年(明和7年)栗林園
の美景二十ヶ所を五言絶句にまとめた「栗林園二十有詠応教」は有名。「碩
学」とは、学問を広く深く修めた様を表す漢語に由来することば。「栗林碩学倶
楽部」は、讃岐を代表する大学者・青葉士弘の志に倣って名づけました。



※料理写真はイメージです。

